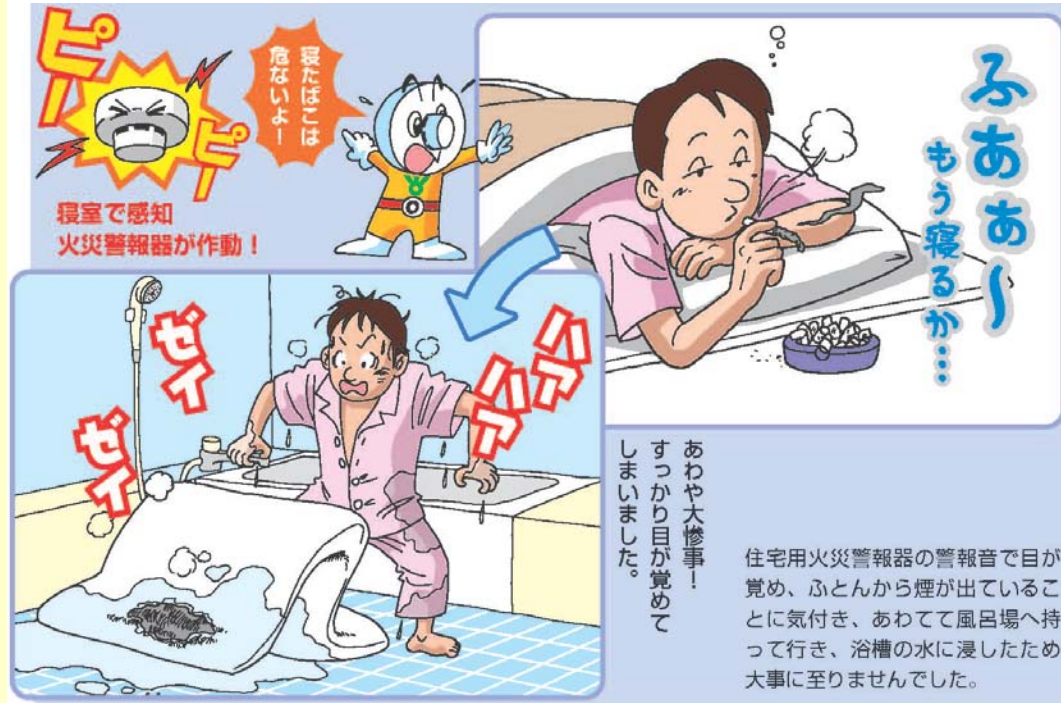


火災から大切な命と財産を守る住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器が作動し、大事に至らなかった例を紹介します。

★寝たばこで本当に
寝入ってしまい、
警報音で目を覚まして…。



★寝ていて蹴った布団が、
電気ストーブに
触れて…。



★揚げ物中の電話、
鍋の事をすっかり
忘れて…。



★居室で仏壇の
ローソクが倒れて…。

ここに使用しているイラスト等は（社）日本火災報知機工業会の承諾を得て使用しています。